



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成 20 年 11 月 11 日

環境大臣 齊藤 鉄夫 殿

日本興亜損害保険株式会社

取締役社長 兵頭 誠

日本興亜損害保険株式会社は、地球環境の保全・持続可能性の確保が人類共通の最重要課題であることを認識し、保険事業を通して、豊かで健全な社会の発展に貢献することで企業としての社会的責任を全うすると共に CO₂ 排出ゼロ（カーボンニュートラル）企業となることを目指して、以下の取り組みを進めてまいります。

1. カーボンニュートラル宣言企業として CO₂ 排出量を削減します。

- 2012 年度までに CO₂ 排出量を 15% 以上削減（2006 年度比）した上で、削減困難な部分は排出権を購入するなど CO₂ 排出ゼロ企業となることを目指します。
- ニュートラル化の前提として、電力・ガス・ガソリンなどのエネルギーに加え、営業・出張・通勤、廃棄物、物流など企業活動に係る CO₂ 排出を包括的に対象とし排出量を算定する基準を GHG 排出量算定ガイドラインに準拠して策定しました。
- 項目別に CO₂ 削減目標を設定し、グループ全体で認証を受けている ISO14001 の取り組みと連動した CO₂ マイナス 15% 運動（消灯時間の早期化、空調温度の設定、エコ安全ドライブの実施等）を実施します。
- オフィスビルの電力使用量の削減のため空調・照明・サーバーの省エネ化、出張・移動に伴うガソリン使用量等の削減のため Web 会議システムの導入、紙の削減のための両面ユニットの設置、物流に伴う CO₂ 削減のため物流拠点を設置します。

2. 保険商品・サービスを通して環境保全の重要性を広く社会に伝えていきます。

- 2006 年度に導入した自動車保険の Web 確認（証券・約款）にカーボンオフセットの仕組みも導入し（2008 年 12 月より）契約件数に応じて排出権を購入します。購入した排出権は日本の目標達成のために寄附することとします。
- 保険事故の際の修理にあたり「樹脂バンパー補修」や「エコパーツの活用」を通して循環型社会の形成に積極的に取り組んでおりますが、2008 年 9 月より、修理件数に応じて排出権を購入します。購入した排出権は日本の目標達成のために寄附することとします。
- これらの取り組みを通じて、紙の削減や廃棄物の削減が CO₂ 排出量の削減に繋がることを社会に訴求すると共にカーボンオフセットの仕組みの啓蒙に努めます。
- 上記の取り組み以外にも幅広く保険商品・サービスを通じた意識の啓発活動に取り組みます。

3. 保険との関わりを通し CO₂ 排出量の削減を支援し低炭素社会の実現に取り組みます。

- 2008 年 10 月よりエコ安全ドライブコンテストを実施し、広く社会に参加を募り、燃料の削減により各事業者の活動における CO₂ 排出量の削減を推進すると共に交通事故の削減による廃棄物の削減にも積極的に取り組みます。
- 「エコ安全ドライブ」の啓蒙を継続的に実施すると共に保険を通してステークホルダーの CO₂ 排出量の削減を支援する取り組みを積極的に推進します。

日本興亜損害保険株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、環境省へ報告するとともに、CSR レポートなどで定期的に公表します。



日本興亜損保